



熊本県PTA連合会
熊本市PTA協議会
合同研究大会

- 期 日 平成29年11月23日(木・祝)
- 主 催 熊本県PTA連合会・熊本市PTA協議会
- 後 援 九州ブロックPTA協議会
熊本県、熊本県教育委員会
熊本市、熊本市教育委員会
熊本県市町村教育委員会連絡協議会
一般財団法人熊本県PTA教育振興財団
- 会 場 グランメッセ熊本
ホールA～D、コンベンションホール
- 参加者 熊本県内PTA関係者
- 参加費 2,000円(資料、弁当代含む)

■大会スローガン

いのち
～創ろう子どもの未来 守ろう子どもの生命
踏み出そう新たな一歩を PTAの絆をもとに～

■大会趣旨

私たちの一番の願いは子どもたちの健やかな成長と絶え間ない笑顔です。昨年度、熊本地震を体験した私たちは、子どもたちの笑顔にどれほど救われたことか。子どもたちのおかげでどれほどの勇気もらったか。いまこそ、子どもたちの笑顔に答えるべく、子どもたちの未来のため、様々な課題に真剣に向き合い対応すべきではないでしょうか。また、熊本地震発災以降、全国から寄せられた多くのご支援に対し、心から感謝するとともに、熊本県PTA連合会と熊本市PTA協議会がこの大会を通じて、ご支援いただきました皆様にお礼の意味を込め、熊本が一丸となって復興に努めていることをお伝えしたいと思います。

子どもたちの輝く未来のために熊本のPTA会員同士が学び・研鑽し、心ひとつに、絆をより一層深める機会にさせていただけるよう、この「熊本はひとつ 震災復興 ひのくに大会」を実施いたします。

■記念講演 西 芳照 様



主な経歴
1962 福島県南相馬市生まれ
1980 京懐石よこい入社
1997 エームサービス株式会社に入社し、「ヴィレッジ事業所勤務」
1999 天皇皇后両陛下下行幸啓における料理を手がけ、その後、同事業所総料理長に就任
2004 日本サッカー協会の依頼により、代表帯同シェフとして帯同以後、2006年W杯ドイツ大会、2010年W杯南アフリカ大会も含め、50回以上の日本代表の海外遠征試合に帯同し、選手やスタッフに食事を提供する役割を担っている。

主な著書
2011 「サムライブルーの料理人」(白水社)
2014 「世界と闘う サムライブルーの必勝ご飯」(家の光協会)
2014 「サムライブルーの料理人3・11後の福島から」(白水社)

■タイムスケジュール

9:00 ●受付開始	13:00 ●アトラクション	ホールC・D
9:15 ●アトラクション	13:15 ●大会式典	//
9:30 ●分科会	14:00 ●記念講演	//
11:45 ●昼食	15:30 ●閉会行事	//
	15:45 ●閉会	//

熊本はひとつ 震災復興 ひのくに大会 概要

	テーマ	会 場	運営責任者	内 容
第1分科会 特別支援教育	包容力のある教育 「インクルーシブ教育の構築」 熊本県立ひのくに高等支援学校 校長 中山 龍也先生	グランメッセ熊本 ホールA 人員600名	宮崎 征二 熊本県PTA連合会 教養委員長 松島雄一郎 熊本市PTA協議会 副会長 (南区代表幹事)	特別支援教育は、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育構築のために必要不可欠なものであるといわれます。そのため特別に支援の必要な児童生徒の地域における生活基盤の整備と、自立・社会参加の促進、合理的配慮の充実が求められています。 まず保護者である私たちが、正しい知識を身につけ、理解を深めることが重要です。学校現場や行政も交えたパネルディスカッションを実施し学び合いたいと思います。
第2分科会 組織・運営	子どもを見守り、自ら楽しむ PTA活動を目指して ～PTAの絆をもとに～ 合志南小学校PTA 出水南中学校PTA	グランメッセ熊本 ホールB 人員600名	今田 史昭 熊本県PTA連合会 総務委員長 磯田 圭輔 熊本市PTA協議会 副会長 (中央区代表幹事)	今、全国のPTAでは、少子化をはじめとする様々な問題を抱えています。そのような時だからこそ、価値あるPTA組織のあり方や参加しやすい運営方法などを考えていかなければなりません。提言校の活動実践報告、指導助言者のアドバイスをもとに参加者全員で「単位PTAの組織・運営」について考えそれぞれの単位PTAでの活動に活かすヒントを持ち帰って頂きたいと思います。
第3分科会 情報モラル教育	みんなで見直そう！ スマホやネットの使い方 兵庫県立大学准教授 竹内 和雄先生 ネットモラルキャラバン隊	グランメッセ熊本 ホールC 人員800名	野田三紗子 熊本県PTA連合会 家庭教育委員長 今村 吉宏 熊本市PTA協議会 教養委員長	子どもたちを取り巻くネットの状況は日々変化しており、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれるケースは後を絶ちません。 親として自分の子ども、地域の子もたちを守るためには、子どもたち自身にネットモラルや規範意識を身に付けさせることが重要です。 さらには、子どもだけでなく保護者自身のスマホやネットの使い方も見直して、子どもたちをネットトラブルから守るためのポイントを持ち帰って頂きたいと思います。
第4分科会 地域連携	地域と協働して行う PTA活動 画図小学校PTA 倉岳小学校PTA	グランメッセ熊本 ホールD 人員600名	岡崎 秋人 熊本県PTA連合会 広報委員長 松本 知樹 熊本市PTA協議会 副会長 (東区代表幹事)	子どもたちが自分の住む地域の活動に参加し、自分の持つ能力を地域に貢献するために発揮することは、子どもたちの心に故郷への理解と愛情を育み、誰かのために役に立てる喜びを感じさせるものとなると考えます。 それは子どもたちを大きく成長させ、学ぶ意欲を高め、将来の故郷の発展にも寄与することに繋がっていくのではないのでしょうか。 地域と連携しながら子どもたちを育くむPTAのあり方を学び合いましょう。
特別分科会 防 災	地域防災における PTAの役割 矢部小学校PTA 力合西小学校PTA	グランメッセ熊本 コンベンション ホール 人員400名	前田 竜次 熊本県PTA連合会 会計理事 夏木 良博 熊本市PTA協議会 副会長 (北区代表幹事)	昨年4月に発生した熊本地震では「熊本で大地震は起きない」という今までの私たちが持っていた常識は崩れ去り、いかなる自然災害も時と場所を選ばず、突然、襲い掛かって来るのだと改めて思い知らされました。 この様な自然災害などから私たちの大切な子どもたちを守りぬくための取り組みとして、「防災」は非常に大切なものと言えます。 「防災」の3要素の1つ、「共助」におけるPTAとしての役割を皆さんと共に考え、あらゆる災害への「備えと覚悟」としていききたいと思います。
全体会 記念講演	サムライブルーの料理人 3・11後の福島から 平成28年地震後の熊本へ サッカー日本代表 専属シェフ 西 芳照 様	グランメッセ熊本 ホールC・D 人員3,000名	下田昇一郎 熊本県PTA連合会 副会長 建山 洋孝 熊本市PTA協議会 副会長 (西区代表幹事)	現在、サッカー日本代表の専属シェフで、「ビレッジ内のレストラン社長でもある西さんは、3・11 東日本大震災の後、故郷である福島に帰り、福島の復興に力を注ぎながら忙しい日々を送っておられます。 特に、震災からの復興に向けて、日本だけでなく世界にアピールし、復興のために自分ができることを考え、実行し、そのことに世界中から共感のメッセージが数多く届けられました。 熊本地震を経験した私たちが、今、できることを示唆いただけるものと思います。